第25回組合員女性研修会

鮮やかな紅葉も終わり、冬の訪れを感じる11月6日～11月7日の2日間、全道各地から組合員のご婦人26名の参加をいただき、『第25回組合員女性研修会』を開催いたしました。

【㈲レークヒル牧場 】洞爺湖町

まず先に、研修で訪れた牧場とその内容ついて報告いたします。

㈲レークヒル牧場は、道内でも有数の観光地である洞爺湖の西側に位置し、経産牛58頭、育成39頭を飼養、放牧にこだわった飼養形態から、「草つくりコンクール」、「全国草地畜産コンクール」などで、数々の賞を受賞されています。また、乳製品の製造販売、酪農体験など、消費者との交流の場も創出しており、国道に面した牧場直営の販売所は、この日もたくさんの観光客で賑わっていました。

牧場に到着すると、場長の塩野谷孝二さんにお出迎えいただき、牧場の概要についてご説明いただきました。㈲レークヒル牧場は、経営主の塩野谷幸一氏が塩野谷牧場として開業、その後、昭和51年に㈲レークヒル牧場と改名し、会社を設立しました。平成11年に放牧を開始、放牧を主体として高栄養の粗飼料を確保し、濃厚飼料の制限給与、粗飼料の質と個体観察を総合的に考慮した飼料設計を行っています。昨年度の出荷乳量は492t、経産牛一頭当たり9,504kgの生産量を維持しながら、平均分娩間隔は388日という、高泌乳とすばらしい繁殖成績の両立を実現しています。

この日は、朝から比較的暖かく穏やかな日和でしたが、到着するとすぐに雨が降り始め、メインとなる放牧地の見学は雨の中かと危ぶまれましたが、幸い塩野谷場長の説明が終わると雨がやみ、放牧地へと案内していただきました。放牧は、この日で最後との説明でした。放牧地に到着すると、30頭ほどの牛が人なつこく近づいてきて、柵を挟んで牛を見ながら（牛たちに見られながら）の説明となりました。草地の作付け状況は、放牧地13.5ヘクタール、採草地45.5ヘクタール、兼用地を2ヘクタール所有し、その他、サイレージ用のトウモロコシ畑が11ヘクタールあるとのことです。草地は、土壌検査に基づいた施肥設計、グランドホッグで土に空気を入れるなど、化学的、物理的な特性を組み合わせた総合的な面から、草地を診断し管理を行っていました。参加者からの質問も出され、活発な質疑応答が交わされていました。ご自分の農場と比較されながらの質問が多く、少しでもなにか良い情報を持ち帰って、自分の牧場で活かしたいという気持ちが窺えました。

放牧地での説明が終わると、牧場直営の販売所へ行きました。販売所では、アイスクリーム、プリン、シュークリーム、チーズなど、様々な乳製品が販売され、その場で飲食することも出来ます。乳製品がほとんどで、賞味期限が短いこともあり、お土産と言うよりは、その場で食して行かれる方が多かったようですが、美味しいアイスクリームやプリンには、みなさん自然に笑顔がこぼれていました。

（総務部課長　後藤）

【豊平峡温泉名物　インドカリー】札幌市

札幌駅集合後、皆さん一年ぶりの再会で話に花を咲かせながら、バスは豊平峡へと向かいました。

今年、ランチ会場に選んだのは、豊平峡温泉名物「インドカリー」。豊平峡温泉と言えば？「カリー」と合言葉のように、名物のカリーを食べずには帰れません。温泉とカリーのセットは大人気で、この日も平日にも拘らず、温泉と食事に来たお客さんで賑わっていました。店内はスパイスの香りが広がっており、入口を入ると直ぐにガラス張りの厨房でインド人の料理人達が専用の窯でナンを次々と焼いておりました。皆さんの目の前にカリーとナンが置かれると「わぁ〜ナンが大きい！！これ一人分？」と驚いた様子でしたが、皆さん一口も残さずペロリと召し上がっていました。初めてナンを口にした方も多く、インド人が作る本場のカリーと焼き立ての香ばしいナンを囲んで、とても美味しい楽しい時間を過ごしました。

また、ここ豊平峡温泉は、100%源泉かけ流しの鮮度高き温泉で、下からくみ上げた源泉に「薄めず、沸かさず、循環せず」をモットーに心も身体も癒される温泉です。日本最大級を誇る三つの露天風呂は四季折々の景色が堪能でき、夜はライトアップされ幻想的なロケーションが楽しめます。

【定山渓万世閣　ホテル ミリオーネ】札幌市

今回の宿泊先は、定山渓にある『定山渓万世閣ホテルミリオーネ』。北海道を代表する温泉街の一つである定山渓は札幌市街から１時間弱。歴史ある温泉街です。周辺には４年前に研修会宿泊先となった小金湯温泉や、今回の昼食会場となった豊平峡温泉があり人々を癒しています。また、四季折々の美しい景色に出会えるのも魅力のひとつです。懇親会では昨年大好評だった、参加者全員でプレゼント交換を行い、心のこもったお手紙付のプレゼントや、ご当地名産など、女性目線の優しさあふれるプレゼントに和やかなムードに包まれ、終始笑いの絶えない懇親会となりました。

日に日に寒さを増し、雪がちらつく二日目の朝、皆さんご自宅へのお土産を手に札幌駅へと向いました。

あっという間の二日間でしたが、この研修会が新たな出会いの場となり、この北海道の酪農を多いに盛り上げて頂く力になればと思います。

同業者として、良き仲間であり、良きライバルでもある。そんな刺激し合える関係がこれからも築かれていけば幸いです。事務局として、皆様の元気なお姿と素敵な笑顔に出会えた事に感謝しております。

皆様にご協力いただいたアンケートを基に、今後の研修をより良いものにと考えて参りますので、次回またのご参加を心よりお待ち申し上げております。まだ参加された事の無い方や、興味をお持ちの方は是非お気軽にご参加ください。

最後になりましたが、この研修会の取りまとめにご協力頂きました各地区協議会長様はじめ関係者の方々に深くお礼申し上げます。

（総務部書記　天谷）